

「第36回議会報告会～高校生議会」

に関するアンケートまとめ

高校生議会の感想

・初の高校生議会が開催され、無事終了することができほっとしています。高校生の皆さんも意義深い体験ができて本当に良い事業ができたかと率直に思っています。

今後本日の貴重な意見を具体化させることができるように、議会でのしっかりした取り組みが求められると考えています。

・LGBTの小中学生への対応について、目を伏せてしまいがちなテーマをよく調査し、質問は難しい内容だったと思います。高校でのグループ発表の内容では、具体的な提案が示されていましたが、本日の質問では、LGBTの児童・生徒への知立市の取り組みと対応の投げかけがされていました。LGBTの理解を深め、LGBTの現状を知ることの大切さを教えられました。

・知立市議会主催の「第1回高校生議会」が開催されました。知立市内にある、知立高等学校、知立東高等学校、学校法人山本学園の3つの高校から、代表者17名が高校生議員として出席し、3校代表による代表質問→各学校毎に委員会協議→委員会での協議結果を議場にて報告し政策提言という流れで行いました。

私は山本学園の担当で、生徒と一緒に街歩きをし、課題を探るなど実践型で報告することで、スムーズに問題点を指摘することが出来ました。

今回高校生議会を通して「政治が特別なものではなく、身近な生活の中にある」ということを感じていただけたと思います。

・コロナ禍において開催するには多くの課題と問題を抱えての準備から、リハーサルを経ての開催となりました。知立市制50周年、そして知立市議会50周年を記念して第1回知立市議会「高校生議会」の開催目的は、議会を身近に感じてもらう事や政治に関心を持っていただく事、選挙権年齢が18歳に引き下げられた事への意識醸成を図るため、市内3校にお願いして開催しました。

山本学園は生徒会の役員を担う14人の生徒が学校周辺のまち歩きを3回行い、「通学路の安全と学校周辺のまち環境」に絞り込まれ、テーマを「知立の交通整備」とされました。本会議の代表質問、また山本学園委員会においても問題視する指摘箇所をきちんと絞り込み、パネルや画像を上手く駆使して傍聴者にも非常に分かり易く報告されました。付託された議題（案件）の議論を深めるにあたり、委員会委員長の適切な進行により傍聴する生徒や、学校関係者、また6人の担当議員からも闊達な意見を引き出し、鋭い意見のやり取りが行えました。建設的な討論が委員会をより盛り上げ、しっかりとした委員長報告が出

来ました。

- ・知立市議会がこれまで改革のテーマとしてきた「市民に開かれた議会」、「議会への市民参画」に加えて「若者の主権者教育の一環」として、とても良い機会だと実感した。
- ・各校で考えてきたテーマに、議員が一緒になって協議していく姿勢は、これまでの議会改革の一つの到達点として、今後も継続できれば良いと思う。
- ・初めての開催で、委員会運営上で模索する場面もあったが、最後は「子どもたちが主役」というテーマを共有でき、高校生委員長さんの取り回しも素晴らしく、子どもたちの積極的な発言を促すことができた。

・今回、知立市として初の試みであった高校生主体の議会は結論としてはやってよかった。平成28年に選挙権年齢が18歳に引き下げられて主権者教育の重要性が急激に高まった中で、我々大人がどのように若者にアプローチしていくべきかの答えもここにあった気がする。今回の高校生議会を通じて発見や驚きがあったのは我々議員の方だったかもしれない。今回だけでなく今後も未来をけん引する若者たちに活躍できる場所を提供していきたい。

・1年延期を経て、生徒さん方のモチベーションは？と心配していたが、当日の堂々とした発言、主張に感動した。3校、各校での話し合いの時間をもって決めたテーマ。事前準備に奮闘していただいた先生方の様子が目に浮かぶようであった。

今回、委員会付託という形をとり、より多くの生徒さんの発言の場を持ったが、これからもこのような形にしていくかは、検討が必要。

・記念すべき第1回目となる市議会主催の高校生議会であり、大盛會に終えたこと喜ばしく感じている。コロナ禍ということもあり、傍聴者の制限をしたが、関係者以外にも多くの方に見てもらいたかったほど良い事業となった。教育委員会が主催する子ども議会との差別化も出来て、案件をさらに議論する委員会形式は正解であったと思う。委員会協議では、議員が上手にファシリテートできたと思うが、不慣れなこともあり、定着していけば、もっと深く活発な議論になってくるのではないかと考えています。

- ・高校生たちの真面目な取り組み姿勢に感銘を受けた。
- ・自分の高校生時代に、あのような議論ができたとは思えない。
- ・時代に合った、自分たちの周りで起きている身近なテーマの選定が良かった。
- ・議会、議員を理解してもらった良い機会であった。
- ・初めての高校生議会の割に、円滑な議会運営が図れたと思う。

・主権者教育ということで高校生議会を初めて行った中で、概ね所期の目的は達成できたと思う。ただ、今後に向けて課題も見えたので、しっかり協議しよりよい高校生議会が実施できるようにする必要がある。

・高校生生徒のレベルの高さに正直驚きました。皆さんそれぞれが問題意識をお持ちになり、行動を起こそうという意識の高さに感心するとともに、主権者教育の重要性を再認識する機会となりました。「投票率が云々」「若い世代は無関心」などと捉えがちですが、まだまだ私たちは努力不足であり、思考停止に陥らないよう今後も継続していく必要性を強く感じました。

・高校生のみなさんの声を直接お聞きできたこと、また、高校生のみなさんと取り上げたテーマについて協議できたことは、大変貴重な機会であったと感じています。高校生の視点からの意見には、改めて気づかされる点が多くありました。高校生のみなさんが今回の議会活動の体験や議員との協議を通して、議会や政治へ関心を持っていただき、地域のまちづくりを考え、参画していただけるきっかけになることを願っています。

・コロナ禍の中、3校の先生方にご尽力頂き、無事開催できたことに感謝申し上げます。未来を担いゆく宝の高校生の皆さんが、住みやすい知立市の為に、それぞれのテーマのもと堂々と代表質問され、新鮮で貴重なご意見を発表された姿に、大変感動致しました。

また、委員会では、「市内在住・通学の小中高生が学校外で交流できるスペースをつくる」、「子どもたちが一からつくるイベントの開催」の2つの提案について、高校生一人一人が他市の事例をたくさん調査され、発言されました。皆さんの意見は大変参考になりました。様々な意見や思いを交わし合う、素晴らしい委員会になりました。中でも、地域住民と交流を深めることは、災害時の相互協力にも役立つことが考えられること、縦のつながりを作ることは、緊急時の対策につながるのご意見を頂き、災害が頻繁に起こっている今、大切な視点であり、しっかり取り組んでいくべき課題だと思えます。

皆さんから頂いた貴重なご意見を、市民の皆様の生活に生かせるよう、尽力して参ります。

・今回、初めての高校生議会に参加して、生徒さんの意識や高校の思いがどれくらいなのか？結局、市議会側・大人側の押し付けの高校生議会にならないか？を心配していました。しかし、参加した高校や生徒さんには、そんな心配をして参加していたことが大変失礼な程、高校生議会に対して真剣に向き合っていたことが分かりました。それは、担当させていただいた知立高校では、タウンミーティングが行われグループごとにしっかりと知立市の課題と向き合い、検討して発表してもらったこと意見交換したことで高校生の高校生議会への思いを知ることができました。学校では教えてもらえない部分を高校生や各学校が今回の高校生議会を通じて知ることができたのなら有意義であったと思えます。

・知立市在住以外の生徒も地域課題に係わる取組、問題点を提示してくれたり、政策に反映できる課題を提示してくれた。

・コロナ禍の中、多くの皆さんの努力が実り開催出来たことが何よりでした。

主権者教育などという上から目線にも関わらず、最終的には素直な意見を沢山出してくれた生徒さん達に感謝するばかりです。

継続は力で、毎年恒例になり、議員と協力し、政策提言出来る様になれば素晴らしいと思います。

- ・高校生に何をしたいかを聞くと、知立市内の街歩きをし、最終目標として、明治用水近くの県道に信号を取り付けることだと言ってくれた。

- ・地域の課題について高校生や担当教員と一緒に「街歩き」を行いながら高校生の皆さんが日頃から感じている問題点について知ることができ大変良い機会でした。信号機の設置という大きな課題ですが、また、解決に向けての取り組みを、議員側が答えを出すのではなく、高校生自身が市の施策や法令などを調べて、最終的に「議会」に提言するというプロセスが体験できたのではないのでしょうか。代表質問では概ね時間内でそれぞれの問題点やテーマとして選んだ背景、課題への問題提起がしっかりとまとまったものになっていました。個人的には高校生が「私たちが小中高と学んだ日本国憲法では人権の尊重があるが、果たしてしっかりと守られているのだろうか」とLGBTQをテーマに選び、真剣に議論していただけたことが大変嬉しいです。

今後、各校の高校生議員からの提言をしっかりと、議会として受けとめ、行政運営や今後まちづくりに活かす、反映できるように今回の高校生議会の取り組みでは、議員（市議会）として引き続き取り組まなければいけないと思います（高校生から投げられたパスをしっかりと受けて、返す）。

今回の高校生議会は主権者教育や地方自治を身近に感じてもらう取り組みでした。市民アンケートでは「議員の顔が見えない」「議会が何をしているかわからない」という回答がありますが、このような取り組みを行うことで議会の役割などを知ってもらう関係ができていくと良いです。

- ・各校ともに、様々な社会問題に対する関心に深さがうかがえる。一昨年、最初に高校生議会の開催について依頼に伺った時、対応に若干の差があったが、各校とも地域の課題や社会問題に対して毎年テーマを決め継続的に取り組んでいるため、高校生議会の開催についての理解が早く、前向きな意見も頂き参加意欲の高さも感じられた。

各校委員会では、高校生らしい新鮮な意見や、条例や事例研究に基づく論拠が明快で、説得力のある意見等も聞かれ興味深い議論が行われた。

最初はやはり議論の形式が少し壁になっているのか、発言しにくい雰囲気があった。少しずつ積極的に意見が出始めたが、個々の意見としての発言が多く話し合いの方向性がつかめない感じがあった。討論しながら議論を深めていくには委員長のファシリテーター的な采配や議員からの助言が必要と感じる。